

事務事業名	18900 感染症予防対策事業	予算科目	会計 一般	款 4	項 1	目 2	担当班	予防班
基本施策	5 保健の充実	根拠法令	予防接種法					
施策の展開	12 病気予防対策の充実	戦略事業	55 感染症予防対策事業					
実施年度	平成 29 年度	戦略事業						

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 13 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	≪子ども≫ 予防接種法に基づく予防接種(A類)を、乳幼児及び児童生徒に対し実施している。実施形態は、医療機関で受ける個別予防接種と旭市保健センター及び市内の小学校で実施する集団接種の二通りがある。個別接種は、ヒブ感染症・小児肺炎球菌・四種混合・不活化ポリオ・麻疹風しん混合MR・水痘(水ぼうそう)・日本脳炎・ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん予防)・B型肝炎の9種類。集団接種は、BCG・二種混合の2種類となっている。個別接種は、一般社団法人旭医達医師会・千葉県内の相互乗り入れ協力医療機関及び要注者として独立行政法人総合病院国保旭中央病院・千葉県こども病院にて受けられる。接種費用は予防接種法に定められた年齢内であれば、個別・集団接種共に無料となっている。(※三種混合ワクチン販売終了により個別委託が減となる) ≪高齢者≫【単年度繰返】予防接種費の助成をすることで、高齢者がインフルエンザや肺炎による重症化を防ぐとともに、感染が広がることを防止する。①高齢者肺炎球菌(任意助成事業)24年度から27年度で終了②高齢者肺炎球菌(定期)26年10月～(3,000円助成)、③高齢者インフルエンザ(1,000円助成) 【期間限定複数年度】新型インフルエンザ等感染症の発生に備え、計画やマニュアルの整備を行う。実際の発生時は、初動体制に遅れない適切な対応を行えるようにする。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
≪子ども≫ 感染症の患者・死者が多数発生し昭和23年予防接種法が制定された。その後一部改正を重ねつつ現在に至る。 ≪高齢者≫ (高肺)任意予防接種を平成24年度から旭市独自事業として開始するが、26年度から定期接種開始に伴い27年度末にて終了。(インフル)H13年予防接種法の改正により、対象疾病にインフルエンザが追加される。	≪子ども≫ 予防接種法において、H25.4月～新規導入①ヒブ感染症②小児肺炎球菌③ヒトパピローマウイルス感染症・H26.10月～新規導入水痘(水ぼうそう)・H28.10月～新規導入B型肝炎・H23～24年度にかけワクチン別に個別接種へ移行(二種混合DT-BCG除く) ≪高齢者≫ H26.10月～高齢者肺炎球菌が法定化される。対象者は65歳～5歳未満(年齢)年度末年齢と、障害者手帳1級を有する者。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
≪子ども≫ 市内の医療機関の予約が取りにくい。通知を受取り予約電話をしないと、医療機関によっては1～2か月先まで予約が取れない。 ・協力医療機関が少ない。 ・予防接種の種類が多くなり、接種時期や接種間隔が分からなくなってしまう。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算) 単位:千円	
1.賃金、報酬、旅費	1,708 臨時職員賃金
2.需用費	1,196 消耗品費、印刷製本費
3.役務費	1,703 通信運搬費、集団予防接種ワクチン
4.委託料	103,871 個別予防接種委託料
5.扶助費	15,298 ワクチン接種費用助成金
② 特定財源の内訳(29年度の決算) 単位:千円	
1.国庫支出金	0
2.都道府県支出金	0
3.地方債	0
4.その他	0

事業費	費目内訳	1.賃金、報酬、旅費	千円	1,854	1,932	1,982	1,708	2,354
		2.需用費	千円	2,288	1,612	1,502	1,196	1,706
財源	事業費計(A)	3.役務費	千円	1,647	1,578	1,629	1,703	1,770
		4.委託料	千円	96,614	95,302	99,119	103,871	102,223
事業費	財源	5.扶助費	千円	16,790	14,331	15,275	15,298	16,802
		1.国庫支出金	千円	119,193	114,755	119,507	123,776	124,855
		2.都道府県支出金	千円					
		3.地方債	千円					
		4.その他	千円	23				
5.一般財源		千円	119,170	114,755	119,507	123,776	124,855	

前年度増減理由	日本脳炎の予防接種希望者の増加による委託料の増加のため
---------	-----------------------------

従事職員数	常時 2人	最大 8人	× 1日 = 延べ 8人
-------	-------	-------	--------------

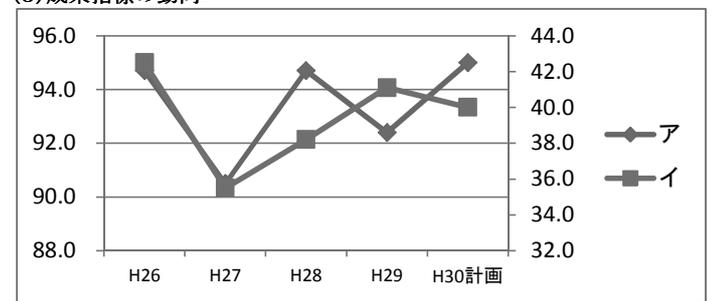
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動) MR2期未接種者に対し、8月に市内の公私立保育所等へポスター掲示・通園児に対し勧奨通知配布、10月・1月に未接種者へ個別に勧奨通知をした。	⇒	ア 子どもの予防接種の種類(定期予防接種)	種類	11	11	12	11	11
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	イ 高齢者の予防接種の種類	種類	2	2	2	2	2
	対象 対MR2期対象の5歳以上7歳未満(就学前1年間)の子ども 意図 風しんが国の特定感染症予防指針「風しん排除計画」となっていることから、重症化の予防や感染の拡大を防止する。 対象 65歳と70歳以上100歳までの5歳刻み節目年齢で過去に接種歴のない方 意図 平成26年度から5年間の経過措置であり、接種歴のない方に接種の機会を設け重症化予防につなげる。	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
目的		⇒	ア 個別接種の接種率(MR2期)	%	94.7	90.5	94.7	92.4	95.0
			イ 接種率(高齢者肺炎球菌:定期)	%	42.5	35.5	38.2	41.1	40.0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	成果向上余地 かなりある	評価優先度	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	普通	ほとんどない		①		
	小さい			②		(9)
			③			
			④⑤			
			⑥			
			⑦⑧			
			⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難									
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下	比較	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
③ 今年度取組事項(30年度に取り組む主な事項について記載)	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	ア	4.3	△4.2	4.2	△2.3	2.6
					イ	42.5	△7.0	2.7	2.9	△1.1
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他()									
(コメント) (低下の場合、その理由) 接種勧奨通知後、保護者の感染予防に対する意識は高いが、徐々に低下してしまつたため。										
例年どおり実施										